お知らせ

市政の動き
（10月16日～11月15日）

※ここでは、「クリーン、わかりやすい、開かれた市政」の確立のため、市民の皆さんに市役所内で「どのような会議」が開催され、「どのような結果」になったか概略をお知らせします。

10/18(火)

第10回長浜市景観審議会
【内　容】長浜市屋外広告物条例（素案）および許可基準（案）について、長浜市歴史的風致維持向上計画の変更について
【結　果】長浜市屋外広告物条例（素案）について審議するとともに、現在変更作業を行っています長浜市歴史的風致維持向上計画の進捗状況に関して報告を行いました。
【担当課】都市計画課（☎６５－６５６２）

10/19(水)

長浜市交通安全対策会議
【内　容】第９次長浜市交通安全計画（素案）の検討、パブリックコメントの実施について
【結　果】計画（素案）に対し、自転車の利用空間の整備、自転車の運転マナーアップについてなど、各委員から意見をいただき、了承を得ました。その後、パブリックコメントの実施について説明し、了承を得ました。
【担当課】市民自治振興課（☎６５－８７２２）

10/25(火)

第３回長浜市民プール移転整備検討委員会
【内　容】前回議事の確認、移転整備案について
【結　果】委員会における協議事項でない温水プールの整備については、議事が遅延する恐れがあるため配慮するよう委員長から各委員へ要請がありました。これに対し、議論を尽くすためには時間をかけるべきとの意見があり、一部の委員からは引き続き温水プール整備の意見が出されました。
事務局よりプールの配置に求められる事項を説明しました。また、市長提言時期を２か月程度延長し、会議回数を６回とするスケジュール修正案を提案しました。
【担当課】都市計画課（☎６５－６５４１）

10/25(火)

第１回長浜市原子力災害対策計画検討委員会
【内　容】市の現状と背景について、長浜市原子力災害対策計画の策定方針と策定スケジュールについて
【結　果】最初に市の置かれている状況について説明し、その後、長浜市原子力災害対策計画の策定方針と策定スケジュールについて、原案のとおり承認を得ました。
【担当課】防災危機管理課（☎６５－６５５５）

10/27(木)

第４回　長浜市高齢者保健福祉審議会
【内　容】「第５期ゴールドプランながはま２１」の体系について、介護施設の整備見込について、介護保険料の算定について
【結　果】次期計画の体系や施設整備および介護保険料の考え方について説明し、意見交換などを行いました。
【担当課】高齢福祉介護課（☎６５－７７８９）

10/28(金)

長浜市国民健康保険運営協議会
【内　容】平成22年度長浜市国民健康保険歳入歳出決算について、後発医薬品差額通知について、診療所の休診日・診療時間の変更について
【結　果】長浜市国民健康保険歳入歳出決算と後発医薬品差額通知については、質疑の後、承認を得ました。診療所の休診日・診療時間の変更については、質疑なく承認を得ました。
【担当課】保険医療課（☎６５－６５２７）

11/7(月)

長浜市暴力団排除条例検討会
【内　容】パブリックコメントの結果報告、長浜市暴力団排除条例（案）の検討
【結　果】パブリックコメントによる意見は０件であり、それによる修正はない旨の報告をしました。その後、条例（案）の検討を行い、一部修正で了承を得ました。今回の会議で終了となる旨と、今後は内部検討を重ね12月議会に上程し、１月１日施行をめざしていく旨の報告をしました。
【担当課】市民自治振興課（☎６５－８７２２）

11/11(金)

第１回長浜市定住自立圏共生ビジョン懇談会
【内　容】正副会長の選出、市の定住自立圏構想の取組経過の説明、定住自立圏共生ビジョン（案）の協議
【結　果】共生ビジョンの内容について質疑応答を行い、次回懇談会で対応案を示すこととなりました。
【担当課】企画広報課（☎６５－６５０５）

※詳しくは、市ホームページ（http://www.city.nagahama.shiga.jp）をご覧ください。

お知らせ

座ぶとん会議 ㉒

「ゆかたと音楽とまちづくり」

長浜商工会議所青年部

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの生の声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

第22回座ぶとん会議は、長浜商工会議所青年部の皆さんと商工会議所で開催しました。長浜商工会議所青年部は、事業所の若手経営者が集まって組織される団体で、日頃から長浜市のまちづくりに大いに寄与していただいています。

まず、毎年開催されているゆかたまつりについて、和装の似合うまち、長浜が誇るイベントとして、観光客誘致や滞在型観光にもつなげていきたいとお話をいただきました。このゆかたまつりは、市のまち並みと夏の風情を融合させたイベントとして定着してきました。市民の皆さんが楽しむことはもとより、観光客の誘致ができるイベントとして期待しています。

次に音楽によるまちづくりについてお話をいただきました。

皆さんは、長浜の歴史や伝統と文化、豊かで美しい自然が息づく地域であることなどを歌でアピールしようと、長浜の名勝、名産物、観光地、歴史を盛り込んだ誰でも歌えるご当地ソングを、広く募る長浜ご当地ソングプロジェクトを立案されました。そういったこともあって、いただいたお話は「長浜を音楽があふれる街にしたい。」「音楽祭とかジャズフェスティバルができないかと思っている。例えばゆかたまつりと一緒に、演奏する人も見る人もみんな浴衣で、浴衣と音楽があふれる街というのはどうだろうか。」などと心躍る内容でした。

音楽は人の心を和ませます。街と音楽を融合させることによって、今あるまちの魅力をより一層引き立たせることができ、また今のまちとは違ったまちを形成することができると思います。ぜひ皆さんには今の長浜市により深く、そして更なる魅力を付加できるようなまちづくりを進めていただければと思います。

懇談の中ではこの長浜市をより良く、住みやすいまちにしていこうという意気込みが感じられました。私は熱心にこのまちのことを思っていただいている人が多くおられることに、大変心強く、うれしく思いました。

行政も皆さんのように熱い思いを持って、まちづくりに取り組んでいかなければいけないと改めて感じたところです。市のまちづくりは、まだまだいろんな仕掛けができると思います。行政が手伝わなければいけないことや、市としてやらなければいけないことはしっかりとやっていきます。

市長コラム⑱

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天
誠を尽くせば天が
味方してくれること

江・浅井三姉妹博覧会の成功は「長浜市民力」の結集結果！

湖北の野山の紅葉は最高です。美しい自然が人々の心を和ませ元気や希望を与えてくれます。この自然豊かな故郷に暮らすことに幸福や誇りを感じます。

さて、大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の放映が終了しました。毎回、毎回、笑いや悲しみ、そして感動・感激を与えてくれました。ドラマの登場人物の信長・秀吉・三成・長政・お市・江や茶々・初などは北近江にゆかりのある人物です。戦国の世の武将達の野望と戦いと天下統治の国創り。今回のドラマは、そんな時代を浅井三姉妹をはじめとする女性達がどんな思いで生き抜いたのかを表してくれました。戦国の女性達は、常に家族の健康や幸福、また地域の事を想い、平穏な世の中を求めていました。

私は、我が故郷が戦国の世の舞台であり、名を馳せた武将や姫たちのゆかりの地であることに改めて誇りを持ちました。また、ドラマにも登場した小谷山、姉川、賤ケ岳、琵琶湖、竹生島など美しい風景は、戦国の世も今も変わらぬ故郷の大きな財産であります。

「江・浅井三姉妹博覧会」もフィナーレを迎えました。３会場と８連携会場を結んでの３２４日間の博覧会。当初35万人の来館者をめざしてのスタートでしたが、５月の連休に突破し、最終は１１５万人を超える見込みです。全国から大勢の皆さんに北近江にお越しいただき、歴史や文化、美しい自然環境、さらには美味しい食を楽しんでいただいたことと思います。そして、市民、ボランティア、スタッフの皆さんの心からの「おもてなし」が全国に伝わったと思います。お越しいただいた大勢の皆さんに心からお礼申しあげます。また、博覧会を支えていただいたすべての皆さんに感謝いたします。この博覧会の成功は、「長浜市民力」の結集の結果であり、「新生・長浜市」のスタートとなります。

▲博覧会入場者100万人達成を機に「戦国大河のふるさと　北近江長浜」の創造を宣言しました